

第36回エネルギー政策検討会会議議事録（要約）

1 会議の概要

(1) 日 時：平成21年7月21日（火）午後2時から午後2時20分

(2) 場 所：福島県庁第一特別委員会室

(3) 次 第

ア 開 会

イ あいさつ

ウ 経過説明

エ 議 事

- ・ 検討テーマについて
- ・ 幹事会について
- ・ 今後の検討の進め方について

オ 閉 会

2 開 会

【司 会】

- ・ 只今から第36回エネルギー政策検討会を開催する。
- ・ 開催にあたり、会長からあいさつをお願いする。

【あいさつ】

- ・ 平成17年8月以来、4年ぶりのエネルギー政策検討会となる。
- ・ エネルギー政策検討会は、本県が電源立地県の立場で、当時のエネルギー政策全般について検討し、確固たる考えの下に対処していくため、設置されたものである。
- ・ 以来、検討会の中で、福島県としての考えを築き、「中間とりまとめ」などを通して国に言うべきことをしっかりとってきた。
- ・ 今回、様々な意見に接して、熟慮を重ねた上、原子力政策についての議論を再開することとし、この検討会が検討の場としてふさわしいものと考えた。
- ・ 平成14年9月に当時の原子力政策への問題提起を行った「中間とりまとめ」から既に7年が経過しているが、世界における原子力発電の位置付けの変化、核燃料サイクルの動向、国や事業者の安全・安心の確保に対する取組みなど、課題を今後一つ一つ丁寧に検証していく必要がある。
- ・ 本日の検討会においては、県民の安全・安心を最優先に原子力政策にしっかり対応するため、何を検討課題とするか、その検証をどのように進めていくかについて決めた上で、今後、具体的な検討に入りたいと考えている。

【司 会】

- ・ 検討会の目的、これまでの主な経過について、事務局より説明願う。

【事務局】

（資料 NO.1 に基づき説明。）

【司 会】

- ・ 議事について、事務局より一括して説明をお願いします。

【事務局】

(資料 NO.2～4に基づき説明。)

【司 会】

- ・ 只今の説明について、意見等があればお願いしたい。

【検討会メンバー】

- ・ お手元の「確かな安全・安心のために」という冊子は、平成14年に発生した一連の不正問題について原因究明、再発防止対策に取り組んだものを平成17年10月にとりまとめたものである。
- ・ その中で、今後の安全確保の取組みについて4つのポイントを示している。
- ・ この4つのポイントである「高経年化対策」、「風通しが良く透明性の高い発電所運営」、「安全規制機関の在り方」、「不正問題再発防止の取組み」は、今後の検証においても外すことができないものと考えている。
- ・ 今回のテーマ設定及びこれに対する検証については非常に重要であると考えている。

【検討会メンバー】

- ・ 平成14年の「中間とりまとめ」及び平成17年の「今後の原子力発電所の安全確保にかかる取組み」の2つに、本県がこれまで議論してきた論点が集約されていると思う。
- ・ これを、さらに集約した形で検討テーマを設定したが、かつて提起した論点がどうなっているか、幹事会で検証作業をしっかりと行い、それを適時、検討会に報告し、議論を深めていくという手法で、今後進めていきたい。

【検討会メンバー】

- ・ 今回の検討テーマで特に異論はない。県民の関心も高いところであるので、しっかり公開の場で議論してやっていきたいと考えている。

【検討会メンバー】

- ・ 前回と比較して、幹事会で国や事業者の説明を聞くなど、幹事会の位置付けが非常に重くなっている。

【検討会メンバー】

- ・ 耐震安全性等については検討テーマの2つ目「国の安全規制体制と事業者の取組み等について」の中で検証するのか。
- ・ 幹事会で、テーマに応じて国や事業者等から説明を聴取するとのことだが、ここでいう事業者等の「等」とはどこまで入るのか。

【事務局】

- ・ 耐震安全性については、市町村もメンバーに含んだ原子力発電所安全確保技術連絡会を活用して事業者、国から意見を聞きながら、確認作業を進めたいと思っている。
また、結果がまとまれば、必要に応じて幹事会、検討会へ報告する。

【事務局】

- ・ 国や事業所等の「等」については、大学の先生や、NPO 団体の方々などの外部の有識者の方々を想定している。

【司 会】

- ・ 「結論ありきではない」、「スケジュールありきではない」、「県民、あるいは国民に開かれた議論にする」、この3つが今回のエネルギー政策検討会のキーワードになると思う。
- ・ 今までは、幹事会はオープンにしてこなかったが、今回、幹事会もオープンでやっていく。県民に見える形でやっていく、ということが非常に重要。
- ・ 県民に説明責任を果たしながら、我々なりの検討をしっかりと進めていくことが大事だと思うので、皆さんの御協力をよろしくお願いします。

【会 長】

- ・ 検討会でしっかりした議論をするには、幹事会での国、事業者の取組みの検証が大事であるのでしっかりと願います。

【司 会】

以上で第36回エネルギー政策検討会を閉会する。